



日本共産党 あなたの疑問にお答えします

「核抑止力」論は破綻したの？

ロシアのウクライナ侵攻で、プーチン大統領による核の先制使用の恫喝で、核戦争の危機が現実のものとなっています。

互いに核を持つことで平和が保たれるという「核抑止力」論の破綻は明白となりました。

「核の均衡による平和」がありえなくなる中で、核兵器禁止条約の前進、核廃絶の必然性が鮮明となっています。

ところがこのような状況の中で「核抑止」の強化、「核共有」による武装の強化を主張しているのが安倍元首相であり、日本維新の会です。「核共有」とは、米国の核兵器を同盟国内に配備し、核兵器を共同で運用するという政策で、平時には米国が核弾頭を管理し、有事には同盟国が航空機に搭載して使うという想定です。

日本維新の会は外務省に提出した「緊急提言」で「核共有」を主張し、この議論を開始するとしています。

このことは日本国内に核兵器を配備することが前提であり、「非核三原則」に真っ向から反します。核を相互に持ち合うことは破滅的な核兵器の打ち合いになりかねません。唯一の戦争被爆国の政治家、政党として失格と言えます。

憲法9条を守り、今こそ日本は核兵器禁止条約に参加し、核廃絶の先頭に立つことが求められています。



喜瀬川の水たまりに鯉や雷魚、ナマスなどが沢山集まっています。残念ながら水の濁りではっきり見えませんが、鯉32匹、雷魚8匹、ナマス6匹まで数えましたが・・・。

鯉がウシヤウシヤ

喜瀬川の水たまりに鯉や雷魚、ナマスなどが沢山集まっています。残念ながら水の濁りではっきり見えませんが、鯉32匹、雷魚8匹、ナマス6匹まで数えましたが・・・。



フドウが発芽

春です。フドウが発芽しました。毎年病気にやられて、きれいな房が採れないのですが、今年こそ、しっかりと防除して育てます。(土山・大西)



喜瀬川の改修進む

喜瀬川河川改修工事(その3)が進んでいます。昨年続き河床にコンクリート製のブロックを敷き詰める工事ですが、今回は、加古川バイパスの橋脚の土台部分の大規模な補強が行われています。河床が削られ



ウクライナ侵攻止めよ

マスコミが連日伝えるロシアのウクライナ侵略。立花市議は、街頭で侵略止めよと訴えています。写真は、鶴池団地での街頭宣伝。内容は、ロシアのウクライナ侵攻は国連憲章や人道に上許さない。加古川市議会も3月7日非難決議を全会一致で採択しています。



橋脚の土台にまで影響が広がったのでしよう。工費は4518万円で、施工業者は前川造園土木株式会社です。

平岡町後援会が花見

6日、野添北公園で花見をしました。コロナ禍で2年自粛していたのですが、食形式で実施。丁度満開・好天に恵まれ、楽しい花見になりました。

平岡町内街道散策 41

川の上にバスがある

東加古川駅の北側は岸の下町内会です。バイパスに平行流れている北野川は最近護岸が修理されています。1980年(昭和55年)12月20日少年団のクリスマス会の打ち合わせが岸の下の集会所で行われています。



岸の下の集会所は北野川の上に置かれた古い大型バスでした。バスの椅子を後部の3列ほどだけを残して取り除き平らな床に座る形でした。東加古川公民館が開設され研修会が数多く持たれ、地域の少年団活動は活発で保護者の方(指導者)とジュニアリーダー・幹部隊員の中学生の打ち合わせ会もありました。

川の上の集会所は15年ほど前にはなくなっていました。川の上に建てることは今では考えられません。

山の上の小さな地域博物館
館長 木戸久裕

フードバンクに20人

3月27日、生活と健康を守る会などが実施した「フードバンク」に20名が支援を求めて参加しました。善意で寄せられた、米・野菜・缶詰などが配られ喜ばれていました。前回は参加者は少なかったのですが、浸透してきた模様です。今後、継続して開催するとのこと、4月も第4日曜日の24日に開催されます。寄付をされる方は左記にご連絡下さい。

短歌投稿

「核共有」被爆国の言うことか
核禁条約批准を急げ
城の宮 大中 肇



去年の12月から今年3月にかけて寒波が入り日本海側は雪の日が多く積雪もたくさんありました。

地球温暖化の影響でしょうか。こんな年は、夏の暑さが心配です。大きな台風は御免です。

ご案内

なんでも無料法律相談会

とき 5月17日(木)
18時15分～

ところ かもむ2階会議室A

党市議団と弁護士が対応します
申し込みは立花議員へ
☎ 090-5127-4316

